



待しています。  
(2) 教育目標は

- ① 知性と情操が豊かな人間を育成する。
- ② 健康で倫理感の豊かな人間を育成する。
- ③ 真に国際性を備えた人間を育成する。
- (3) 教育目標を実現するために、次の重点努力目標を定めています。
- ① 学力向上を図り、自己教育力を育成する。
- ② 進路選択能力の育成を図り、進路の実現を目指す。
- ③ 特別活動・部活動の活性化を図る。

④ 明るくふれあいのある学習環境を創造する。

## 二 ユニーク入試への挑戦

平成八年度入試として、光南高校では、「パーソナルプレゼンテーション(個性表現)」(以下PPと略す)を実施しました。PPを実施するに至った経緯は次の三つの視点からです。

- ① 総合学科学科は高校改革のバイオニアであるということ。
- ② 後期中等教育改革の三本柱は高校改革、入試改革、中学校進路指導改革であるということ。
- ③ 二つ目は総合学科学科の視点からです。二つ目は総合学科学科に期待した四次報告が総合学科学科に期待したものにとたえるため。
- ② 総合学科学科は、生徒が学習する科目を選択する学科学科であり、主体的に選択できる能力、意欲を持った生徒が期待されること。
- ③ 光南高校は八系列を備えた総合学科学科であり、多様で多面的な能力個性を持った生徒が望まれること。

三つ目としては、光南高校の方針として、「学力の偏差値」より「意欲の偏差値」を重視したことです。



PPの語義は  
パーソナル

「個人個人に秘められている」  
プレゼンテーション

「人の前で表現、紹介、発揮してみせること」  
です。

PP選抜は、特に制限は設けずに受検生に得意なものを発表させて、意欲、関心等、主に情意面を積極的に評価する方法であり、技能を評価する実技試験とは異なります。試験実施上の都合から、芸術表現、語学表現、スポーツ実技、特技披露、その他の発表の五分野に分けて申告させ、一人十分程度でPPを実施して

もらい、残りの五分程度で面接を行いました。発表は一人を原則としましたが、内容によっては、グループでの発表も認めました。PPは推薦入試、一般入試共に実施しました。PPの主な発表内容を紹介しますと、ボランティアの体験を手話で発表した生徒、「上を向いて歩こう」、「LOVE LOVE LOVE」を歌いながら、歌詞に合わせて手話を行った生徒、闘病体験を発表した生徒、モーツァルトの「キリエ」を合唱した四人の女子生徒、「戦場のメリークリスマス」をピアノで演奏した男子生徒、ゆで卵やソーセージ、キュウリ等を飾り切りしてウサギやワニを作った生徒、自分で描いた絵を持って来て発表した生徒、「受験生の日常」と題してコントを演じた生徒、バトントワリングやジャズダンスを熱演した生徒、アマチュア無線や「ヤマメとアマゴの研究」を発表した生徒、スポーツ実技に取り組んだ生徒、紙芝居を作ってきた生徒、フランス語で自己紹介した生徒、書道、茶道、珠算、ワープロ、手作りの絵本、英語のスピーチなどなど、実に多岐にわたたり、レベルの高いものでした。

受検生も、試験にあたった教師も共に感動を味わうことができた入試